

修了評価の方法

評価基準作成者：長谷川 裕之

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲 「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。</p> <p>2 出題形式 五肢択一形式及び記述形式とする</p> <p>3 出題数 20問</p> <p>4 合否判定基準 60点以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い 1時間の補習を行い再度別問題での試験を行う。 補習料、試験料合わせて2000円とする。 再試験は2回までとし、再試験2回目も不合格となった場合は未修了扱いとなるため注意すること。</p>
------------	---